

平成 30 年度 事業報告書



社会福祉法人ユーカリ福祉会

寺分保育園

〒247-0064

神奈川県鎌倉市寺分 418-10

電話 0467-45-1360

F A X 0467-45-1360

平成30年度

はじめに

園長 大倉圭子

運営7年目。

民営化後、入園した子どもたちも卒園し、新たな一年を過ごした。年度後半、保護者会をなくしたいなどの新たな意見があり、これまで通り、無理なく行うよう話し合った。

仕事があるから保育園を利用しているのに、保護者会で集まったり行事のお手伝いの時間的余裕はない。との意見もあり話し合ったり、保育園の考えを手紙に書いて配布したりした。できる範囲で協同的に行いたいと思う。

環境も変わってきているため、見直しながら慎重に対応していきたい。

意見を出して頂くことで、新たにみんなで話し合い確認できたので良かった。

また職員から提案で、「園外周り美化係」を作り、枯れ葉の掃除などで、近隣の方とのコミュニケーションもとれ良かった。

反対に、太鼓の音に対しての苦情もあった。練習の予定日を案内したり、消音にしての練習など工夫し、手紙の配布を行った。

地域との交流も大切にしたい保育園でありたい。

人事面では、法人異動の職員があり、新たに新規採用者2名を迎えた。2名とも、実習生であり、1名は卒園生のため、比較的スムーズに保育に入ることができた。これからも、ご縁を大切にしたい。実習生は貴重な存在。

要支援児は、市・児童相談所・保健師・ファミリーサポートの方と、定期的にケース会議を行いながら、保育をすすめた。

年度末に園長が、病気療養に入るという事もあったが、法人の理事に助けられ、乗り切ることができた。子どもたち、保護者の方にご心配おかけしたが協力体制が大きく大きな混乱もなかった。

チーム寺分の職員の気持ちの受け入れも大きく、保育に影響は見られなかった。

平成30年度 寺分保育園職員の状況

(2) 職員体制 (案)

- 園長 1
- 事務長 1
- 主任 1
- 副主任フリー 2
- 0歳児クラス 常勤2・非常勤2

- 1歳児クラス 常勤3 (うち1名副主任)・非常勤1

- 2歳児クラス 常勤2・非常勤2
- 3歳児クラス 常勤2・非常勤1
- 4歳児クラス 常勤1・非常勤1
- 5歳児クラス 常勤1・非常勤1

- 調理員(栄養士) 常勤2

- 調理補助 非常勤4
＜延長保育スタッフ＞
(7名)
 - 30年度退職職員
保育士1名
- 30年度異動職員
無し

園児構成 (月初在籍人数)

| | | | | | | | |
|--|----|----|----|----|----|----|----|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|--|----|----|----|----|----|----|----|

| | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 4月 | 8 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 113 |
| 5月 | 8 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 113 |
| 6月 | 9 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 114 |
| 7月 | 8 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 114 |
| 8月 | 10 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 114 |
| 9月 | 10 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 114 |
| 10月 | 10 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 114 |
| 11月 | 10 | 17 | 17 | 24 | 24 | 23 | 114 |
| 12月 | 10 | 17 | 17 | 23 | 24 | 23 | 114 |
| 1月 | 10 | 17 | 18 | 23 | 24 | 23 | 115 |
| 2月 | 10 | 17 | 18 | 23 | 24 | 23 | 115 |
| 3月 | 10 | 17 | 18 | 23 | 24 | 23 | 115 |

平成30年度入園児（29人）

平成30年度途中退園児 5名

平成30年度卒園児 22名

＊園の保育目標＊

「豊かな心と丈夫なからだ」

「ひとり一人が輝く子」

☆子どもたちのしあわせのための約束☆

- ◇ やさしい心を育み、勇気をもって、やさしさを実践できる子どもに育てる。
- ◇ 自主性・主体性を育てる集団づくりの中、自分の目を見て、自分の耳で聞いて、自分の頭で考えて、いきいきと行動できる子どもに育てる。
- ◇ 幼い命の成長に添おうとするすべての人々の叡智と、きめ細やかな養護、適切な援助、家庭支援等、誠実な実践によって共に学び合う。
- ◇ 鋭い感受性をもった想像的な芸術家としての子ども、深い人間愛を身に着けようとする生活者としての子ども、そのかけがえのない命が表現するよろこびを受容し、よろこびとかなしみを共有していく。
- ◇ 身体的にも精神的にも社会的にも健やかな子どもに育てる。

上記のことを基本に心にきざみ職員一同で協力し保育してきた。

年間行事報告

| 月 | 園行事 | 保健 その他 |
|-----|--------------|--------------|
| 4月 | 入園進級式 | 内科検診 |
| | クラス懇談会（全クラス） | 発育測定 |
| 5月 | こどもの日のつどい | 発育測定 |
| | みんなのつどい | 歯科検診 |
| | お泊り保育（5歳） | 耳鼻科検診 |
| 6月 | プール開き | 発育測定 眼科検診 |
| 7月 | 七夕会 | 発育測定 |
| | 笹焼き | |
| | 納涼会 | |
| | | |
| 8月 | お泊り保育（4歳） | 発育測定 |
| 9月 | プール閉い | 発育測定 |
| | お月見会 | 尿検査 |
| 10月 | 運動会 | 発育測定 内科・歯科検診 |

| | | |
|------|-----------------|------|
| 1 1月 | 遠足 | 発育測定 |
| | 焼き芋会 | |
| 1 2月 | もちつき会 | 発育測定 |
| | クリスマス会 生活発表会 | |
| 1月 | こども新年会 | 発育測定 |
| | お店屋さんごっこ | |
| 2月 | 節分会 | 発育測定 |
| | | |
| | クラス懇談会 | |
| | 新入園児面接 | |
| 3月 | ひな祭り会 | 発育測定 |
| | お別れ遠足 | |
| | お別れ会 | |
| | 卒園式 | |

※職員研修報告※（別紙あり）

鎌倉市保育士会の研究会・実行委員が盛んで、月1回集まり、公私で研修研究を行った

鎌倉保育士会では、毎年テーマをもち1年間研究・発表している。

※職員会議

毎月、乳児会議・幼児会議・保育内容会議・職員会議・給食会議・事務所会議・パート会議を、情報の共有、保育の向上のために行った。

※地域交流 別紙あり

「みんなの広場」とし、月曜日から金曜日までの午前9時40分から10時50分まで地域の在宅母子に園庭を解放した。はじめての人でもわかりやすいように利用案内も整理し、玄関なども利用希望者が入りやすい雰囲気を作った。隣接している、学童保育、こども会館との連携で遊びに行ったり交流をもつ。

※広報誌・保育情報の発行

月1回「園便り」「クラスだより」「給食だより」「保健だより」発行

※ユーカリ文庫

玄関に貸出しノートに記入して自由に借りられるようにし、子どもたちが、その場でも読めるようにしている。

※「おやじの会」

保護者主体で、園の畑作り、行事の協力、樹木伐採、園庭整備等。30分年度は年間で、4月14日（土）・6月16日（土）・10月28日（土）・2月2日（土）4回の活動があった。

＊ボランティアの受け入れ

青少年教育、保育士養成の一貫として、積極的に未来の保育者を目指す、中学生や大学生のボランティアを受け入れていった。

夏休みに卒園児が保育士体験に来園。在園児と遊んだり、乳児の着替えを手伝ったり給食を一緒に食べ寝かしつけも行った。

＊小学生の街探検

近隣小学3年生（富士塚小学校）が町の保育園や、会社、お店を訪問、見学、質問をし周りの環境を、探検する。という活動があり、寺分保育園にも、小学生が訪問見学し、保育士とは、保育園とは、のさまざまな質問に答え、保育園に興味を持ってもらう。

＊小学生の職場訪問

富士塚小学校5年生が職場訪問で保育園見学・質疑応答

＊中学生の職場訪問

近隣深沢中学・大船中学校が1日保育士体験をおこなった。複数人参加で、後日、学校での職場訪問発表会にも参加させて頂いた。

＊湘南地区インターシップ受け入れ

夏休みの一定期間、高校生の受け入れを行った。

県立藤沢清流高等学校3年生1名が2日間

＊保育士養成校からの「ふれ合い体験」受け入れ

7月鎌倉女子大学1名・8月相模女子大学2名・9月鎌倉女子大学1名計4名の受け入れを行った。

＊実習生の受け入れ

次代を担う若き保育者を目指す学生に対して学外教育の一翼を担う保育園として、情熱と自信をもって社会に出ていけるように指導した。また、保育士が指導する側にまわることで、園の保育や自分の保育者を見つめ直す良い機会になった。

- 5月28日～6月8日
2名（横浜保育福祉専門学校）
- 6月11日～25日
2名（東京都市大学3年生）
- 8月6日～8月18日 2月12日～3月4日
2名（鎌倉女子大学3年）
- 8月20日～8月31日
1名（岩谷学園 保育専門学校）
- 2月12日～3月4日
1名（鎌倉女子短期大学）

＊保健関係

・毎月、鎌倉市の保健衛生指導員による巡回指導が行われた。

発育測定や健康相談、感染症について指導を仰いだりした。

児童健康診断

| | | |
|------|--------------------------------------|-----------------|
| 小児内科 | みやげこども医院 梶原 1-5-12 ピア湘南 301 | 4月5日日 10月25日 |
| 眼科 | 飯野眼科医院 大船 1-24-19 鎌倉文化会館 3F | 5月28日 |
| 耳鼻科 | ひいらぎ耳鼻咽喉科クリニック 小袋谷 1-9-18 高井ビル 1F | 6月27日 |
| 歯科 | 目黒歯科医院 西鎌倉 2-4-6 | 5月24日 10月18日 |

・職員検診は、平成27年11月～12月 大船中央病院 健康管理センターで実施した。

・園児感染症・インフルエンザ（平成30年12月31名・1月2名・2月5名）、12月保健所届出し手洗いうがいの徹底、遅番時、アルコールでの消毒を徹底した。保護者の方にも掲示などで情報提供し協力頂いた。

溶連菌（6月2名・12月1名）

ヘルパンギーナ（9月3名）

りんご病（8月18名・9月4名）

感染性胃腸炎・・9月に嘔吐、下痢が何名か出たが、流行はしなかった。

水疱瘡（3月13名）

・怪我・事故

・4月13日（4歳児男児）

園庭大型遊具より、飛び降りる際、バランスを崩し地面に顔を打ってしまう。歯より出血がみられ歯科受診。異常なし。うがい薬もらい食後のうがいを行う。

・5月16日（2歳児女児）

サンダルでトイレに行き、和式便器をまたいだ際、転んで壁と柱の金具に眉間をぶつけ出血。受診する。縫合し5月23日抜糸

5月30日経過観察通院

・6月30日（3歳児男児）

土曜保育時、園庭遊びで不自然な動きあり、左を使わない様子がある。保育室で、机に腕をぶつけた。子どもの病歴脱臼リストに名前あり。新入園児であったが、保護者に連絡をいれると、前の園でも何回か腕が抜けたことがあるとのこと。

すぐに、かかりつけの接骨院受診。処置してもらい動かせるようになった。

・7月6日（4歳児男児）

給食時、五目寿司を食べた後、のどの痛みを訴える。

和え物、魚のフライは食べていた。そのため、骨がのどに刺さっている可能性もあるため、耳鼻科園医受診する。ファイバースコープで診てもらう。骨を発見、取り除いてもらい、すっきりして帰園。

・10月30日（2歳児男児）

散歩さきで転倒。歩行が安定していないこともあり手が出ず、顔を地面に打った。上唇、歯茎より出血、歯科受診。フッ素を塗り消毒、うがい薬処方。12月頃再診。12月受診異常なし完治と。

・11月22日（4歳児女児）

午睡後の当番活動の雑巾がけ中、前に滑って口をぶつけ、出血。歯科受診。消毒異常なし。

・1月18日（0歳児男児）

午睡終了時、両腕を保育士がもち布団から起こした。遊び時、右手を使わないことに気付き、使うように誘導しても、痛がるような声を出す。接骨院受診。右ひじの脱臼。肩や鎖骨に異常なし。治療後は、動きも問題なく完治と。

*防災・防犯

- ・避難訓練・不審者訓練を毎月1回行なった。（別紙添付）
- ・鎌倉市生活安全課より通称「青パト」の1日に何度かの巡回があり、連携をとった。
- ・保護者むけには「まちCOMIメール」の登録をお願いし災害時に配信できるようにしている。毎月1回テストメールとして登録して頂いた方に届くよう配信を行った。
- ・3月の不審者訓練では生活安全課より警察OBの方が来園。不審者役になり、保育者の動きも含めアドバイスを頂いた。
さすまたの使い方や、不審者への対応について助言頂いた。

平成30年度 避難訓練実施報告書

寺分保育園

| | 種別 | 発生場所 | 実施日時 | 避難場所 | 実施報告 |
|-----|-----------------|--------|-----------------|--------|---|
| 4月 | 地震・火災 | 給食室 | 17日(火) 9:20 | 各保育室 | ・新入園児を考慮し、保育者の周りに集まり、訓練の意味を知らせた |
| 5月 | 地震・火災 | 調乳室 | 10日(木) 朝礼後 | 園庭 | ・タイムスタッフ・保護者を含めて実施した |
| 6月 | 火災 | 4歳児室 | 13日(水) 14:50 | 玄関前 | ・避難経路の確認を行った |
| 7月 | 火災 | 保育士休憩室 | 4日(水) 14:45 | 園庭 | ・連呼の徹底を行った |
| 8月 | 火災 | 調乳室 | 9日(水) 16:30 | ホール | ・タイムスタッフ・保護者を含めて実施した。事前に説明をしておいた |
| 9月 | 地震・火災 | 5歳児室 | 3日(金) 9:40 | ホール | ・防災頭巾・避難靴を使用した ・5歳児は裏階段より避難した ・非常食体験を行った |
| 10月 | 火災 | 給食室 | 5日(金) 9:30 | 園庭 | ★総合訓練(避難・通報・消火) ・非常ベルを使用した ・防災頭巾・避難靴を使用した |
| 11月 | 地震・火災 | | 5日~9日 散歩中 | クラスで判断 | ・各クラス散歩先で実施し、状況を園に電話報告した ・公衆電話の場所の確認を行った |
| 12月 | 地震・火災 | 保育士休憩室 | 7日(木) 予告なし | 園庭 | ・連呼の徹底をした |
| 1月 | 地震・火災 消防署と連携 | 調乳室 | 18日(金) 9:30 | 園庭 | ★総合訓練(避難・通報・消火) ・避難後ビデオ鑑賞をした ・防災頭巾・避難靴を使用した |
| 2月 | 地震・火災 | 給食室 | 7日(木) 予告なし | 玄関前 | ・連呼の徹底をした |
| | 火災 | 2歳児室 | 7日(水) 16:30 | 園庭 | ・タイムスタッフ・保護者を含めて実施した。事前に説明しておいた |

平成30年度 不審者訓練報告書

寺分保育園

| 月 | 発生時刻 | 侵入場所 | 避難場所 | 実施報告 |
|-------------------|---------------|---------------------|---|--|
| 4月 24日 (火) | 14:45 | 玄関 | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3歳：各テラス出入口へ 4・5歳：保育室の隅で待機 | ・訓練を経験し、保育者の指示に従い避難した。 |
| 5月 9日 (水) | 午後 | ほし組 テラス | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3歳：廊下からホールへ 4・5歳：各保育室隅 | ・ほし組テラスから侵入した際の避難場所、連絡方法の確認した。 |
| 6月 4-8日 | 午前 | 園外で 遭遇 | 近くで安全な場所 | ・園外保育中に不審者に遭遇した際の連絡、避難方法について検討、確認した。 |
| 7月 12日 (木) | 午前 | つき・た いよう組 テラス | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3歳：廊下からホールへ 4・5歳：各保育室隅で待機 | ・つき・たいよう組から侵入した際の連絡、避難方法の確認した。 ・不審者について、気を付ける点など各クラスの子どもたちに伝えた。 |
| 8月 3日 (金) | 朝延長時 7:55 | 玄関 | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3・4・5歳：テラス出入口へ | ・マニュアルに基づき、保育者の指示に従い避難した。 |
| 9月 14日 (金) | 午前 9:10 | そら組 避難口か ら | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3歳：保育室の隅で待機 4・5歳：保育室を出てドアを閉め、 ホールで待機 | ・そら組避難口から侵入した際の避難場所、事務室への連絡方法の確認した。 ・放送を聞き、保育者と一緒に安全な場所へ避難した。 |
| 10月 10日 (水) | 夕延長時 16:30 | 園庭 | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3・4・5歳： 保育室の隅で待機 | ・マニュアルに基づき、保育者の指示に従い慌てず避難した。 |
| 11月12- 16日 | 午前 | 園外で 遭遇 | 近くで安全な場所 | ・マニュアルに基づき、保育者の指示に従い屋外で安全な場所を確保し避難した。 |
| 12月 5日 (水) | 朝延長時 | 園庭 | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3・4・5歳： 保育室の隅で待機 | ・朝の延長保育中保育者の指示に従い、避難した。 |
| 1月 8日 (火) | 夕延長時 | 玄関 | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3・4・5歳：テラス出入口へ | ・夕方の延長保育中保育者の指示に従い、避難した。 |
| 2月 8日 | 午前 10:00 | 園庭から 侵入 | 0・1・2歳：保育室の隅で待機 3・4・5歳：ホールで待機 | ・警察OBの方々と模擬訓練を行う。避難の仕方、通報、対応の仕方などの指導を受ける。子どもたちは速やかに避難出来た。訓練の |

| | | | | |
|--|----|---------------------|---|-------------------------------|
| | | | | 様子をビデオ撮影して対応の仕方を皆で共有出来るようにした。 |
| 3月 22日 (金) | 午前 | 玄関から 侵入して 園庭へ | 0・1歳：保育室の隅で待機 2・3・4・5歳： 保育室の隅で待機 | ・放送を聞いて保育者の指示に従い避難した。 |
| 年間を通して | | | その他 | |
| ・各クラス、係が分担して訓練日前後に定期的に園内安全管理・点検を行う。不具合点があった場合は記録し、各クラスで改善できるものはその場で対応を、その他は事務室で対応を行った。 | | | ・警察 OB 参加の模擬訓練では訓練の様子をビデオで撮影した。今回実際に経験出来なかった職員にも対応の仕方を共有して次年度以降訓練の参考になるようにした。 | |

平成30年度 みんなの広場（地域交流）事業報告

| 日 | 内容 | 実施の結果 | 参加人数 |
|----------|--------------------------------|------------------------------------|------|
| 5月9日(水) | 2歳児クラスと遊ぼう | 参加者なし。 | 0組 |
| 5月23日(水) | 園庭開放 | 園庭で1.2歳児クラスと一緒に遊ぶことができ楽しそうに過ごしていた。 | 8組 |
| 6月6日(水) | 講座「離乳食の進め方」 ～保育園に入園するまでに～ | 初の試みだったが参加者なし。 | 0組 |
| 7月4日(水) | 水遊び・泥んこ遊びを楽しもう | 天候不安定で直前に小雨が降ってきたため中止。 | 0組 |
| 7月18日(水) | 園庭開放 | 参加者なし。 | 0組 |
| 8月1日(水) | 水遊び・泥んこ遊びを楽しもう | 酷暑の為のあり、参加者なし。園児の泥んこ遊びも中止。 | 0組 |
| 8月22日(水) | 園庭開放 | 参加者なし。 | 0組 |
| 9月7日(水) | 講座「赤ちゃんとの遊び方・それぞれの月齢・年齢にあった玩具」 | 参加者なし。 | 0組 |

| | | | |
|-----------|-----------------------|---|-----|
| 9月19日(水) | 園庭開放 | まんまる保育園10名来園。 天候にも恵まれ、過ごしやすかった。また2歳児クラスと一緒に砂場や三輪車で遊ぶ姿がみられた。 | 12組 |
| 10月3日(水) | 0歳児クラスと遊ぼう | 熱心な方々の参加だった。運動会練習の様子をみたり、砂場遊びを楽しんだり、0歳児と交流もした。 | 4組 |
| 10月17日(水) | 園庭開放 | 0歳児クラスと砂場遊びを楽しみながら交流。まんまる保育園8名来園。伸び伸びと遊んでいた。 | 9組 |
| 11月14日(水) | 園庭開放 | まんまる保育園より、9名来園。天気も良く、三輪車や砂場遊びを楽しむ。 | 12組 |
| 11月28日(水) | 保育の日 交流イベント 「食育」 | 食育のテーマのもと、キャベツちぎりを体験する。2歳児も合流し一緒に体操して身体を動かす。参加者が多かった。 | 14組 |
| 12月5日(水) | 講座「赤ちゃんマッサージについて」 | 一人目の育児で戸惑いながら日々頑張っているという印象だった。普段育児で困っていることや不安に思っていること等を質問されていた。 | 2組 |
| 1月7日(月) | 子ども新年会に参加しよう | 参加者なし。 | 0組 |
| 2月6日(水) | 講座「絵本の選び方・読み聞かせ方について」 | 家庭では絵本を読み聞かせたことがなく、選び方のポイントについて興味津々だった。 | 1組 |

H30 年度 給食事業報告書

○給食内容

『食の基本となる給食』『子どもの力を育てる給食』『思い出に残る給食』の3つを基本とし、以下のことを心掛けてきた。

- ・食材や調味料は、安全性が高く国産のものを可能な限り使用する。
- ・旬の食材を豊富に使った一汁三菜の和食を中心としたバランスの取れた献立にする。
- ・出汁は昆布、鰹節、煮干しでとり、食材と出汁の味を活かして味付けは適度な薄さにする。
- ・食べる機会が少ない料理や食材を積極的に使用し、子どもの味覚の経験を深め、幅を広げる。
- ・調理保育や植物の栽培を通じて食べる意欲や心、食に対する興味を育てる。
- ・咀嚼力を育てるために歯応えのある食材を選び、切り方にも留意する。

○調理保育の実施

幼児クラスを中心に「日本の伝統食材を作る」「自分たちで作る楽しさ・食べる楽しさを体験する」を目的に調理保育を行った。

・H30年度実施した主な調理保育（主な調理保育の月、年齢別は下表記載）

梅シロップ作り、梅干し作り、味噌作り、おにぎり作り、クッキー作り、ケーキ作り
カレー作り（4歳お泊り保育）、うどん作り

また、食材との触れ合いとして、0～5歳の全クラスにて給食に使用する食材を、見る、嗅ぐ、触る、ちぎる、洗うなどの下処理を行った。

| 調理保育 | 食材との触れ合い |
|--|---|
| 5月 田植え（5歳） | ・芋類の泥洗い |
| 6月 梅干し作り（4・5歳） 梅シロップ作り（3・4・5歳） 味噌の天地返し（4・5歳） | ・葉野菜をちぎる ・葉野菜を洗う ・かぼちゃの種取り |
| 8月 お泊り保育の夕食作り（4歳） じゃがいもの皮むき、人参の型抜き、 たまねぎの皮むき 等 | ・たまねぎ、とうもろこしの皮むき ・枝豆をさやから出す ・きのこ類をほぐす |
| 9月 月見団子作り（4・5歳） | ・米とぎ |
| 10月 さつまいもの収穫（3・4・5歳） 米の収穫（5歳） ハロウィンクッキー作り（5歳） | |

| | |
|-----|--|
| 11月 | 焼き芋体験（全園児） おにぎり作り（5歳） |
| 12月 | もちつき・鏡もち作り（5歳） |
| 1月 | 味噌作り（4・5歳） おにぎり作り（4歳） クッキー作り（3歳） |
| 3月 | うどん作り（5歳） |

○食物アレルギー対応

在園児のアレルギー（全9名、アレルゲン複数所有の園児、年度中の変更あり）↓

鶏卵6名、牛乳・乳製品2名、小麦2名、大豆1名、ブロッコリー1名、そば1名、くるみ1名

キウイ1名

※“未摂取”という理由による除去…ナッツ類、甲殻類、軟体類、貝類、そば

・基本的に、献立に卵は使用しない（ノンエッグマヨの使用）

・昼食は卵・乳・小麦不使用、おやつには卵・小麦不使用とし、可能な限りアレルギーフリーの給食を提供している

・そば、くるみ、キウイ、甲殻類、軟体類、貝類、そばは使用しないため、対応なし

※ナッツ類のみ非常食に混入しているので注意が必要

▽実際の動き

1. 当日のアレルギー対応を朝礼にて報告、全体周知。

2. 毎日朝おやつで牛乳を出す場合、牛乳の代わりに麦茶を提供している。その際担任にあらかじめ用意しておいたコップに、お茶を入れてもらい提供している。

3. アレルゲンを除去した料理を出す場合は（食材代替え等）その料理を盛るお皿は象柄の皿とし、さらにその器には青ラップをし、その児に提供する給食全てを記名のある個別盆に乗せて提供している。

4. 受け渡し前に給食室職員2人以上で、アレルゲンの混入がないか確認する。

5. クラスでは、お盆にセットされた食事を別テーブルで食べる。

6. 給食日誌に予め除去対応となる食材にマーカーでチェックを入れ、給食室内反省会で確認している。

▽家庭との連携

・食物アレルギー児には、発覚時（入園の際発覚している場合は新入園児面接時）に保護者と面談を行い、アレルギーの種類、程度、除去食材の確認等を行っている。

・非常食用名札を作成し、そこに非常食に対する対応を明記している。

・除去食材一覧表を見別、食材別に作成し、給食室内掲示のほか、家庭でも保管してもらい、間違いがないか、変更がないかを確認している。

・面談は必要があれば都度行い、生活指導管理表に関しては次年度の対応に備えて2～3月

頃新しいものを保護者にお渡しし、受診してもらっている。

○非常食

水、食料（時期に応じて離乳食、粉ミルクも）を約3日分倉庫に常備している。1年に一度、

9月の防災の日に備蓄・賞味期限の点検として倉庫の整理を行っている。

この日に、非常食体験として、α化米、長期保存のおやつ、保存水をおやつとして提供した。非常時の状況を知ってもらうため、提供時は紙皿、使い捨てスプーン、割りばし、紙コップ等を使用した。

賞味期限を迎えたものがあつたので、それは普段のおやつに使用した。追加購入したものは、アレルギーフリーのものとした。

○研修等

H30年度は、姉妹園での研修会で他園の栄養士と意見を交換することができ、献立の見直しや献立のレパトリーを増やすことができた。また、研修会では咀嚼について等、多岐にわたる話し合いができたので、これからも積極的に研修会に参加し、つながりを大切にしていきたい。

○家庭との連絡、情報発信

毎日の給食・離乳食の実物展示（6月～9月は衛生面を考慮して写真）、月1回の給食便りの発行、保育参観時の給食試食会などを行ってきた。

給食試食のアンケートを実施した結果、薄味だが出汁がよく効いていて美味しい等の感想を頂くことができた。

また、秋に初めて「好きな給食アンケート」を行った

○H30年度喫食状況等

年度初めは不安や緊張から残食が見られたが、夏頃より残食がほとんど見られない状態となった。

特に今年度は2歳児クラスの喫食量が多く、年間を通じて盛り付け量、おかわり共にほぼ毎日残食なしだった。0・1歳も秋を迎えたあたりから喫食量が少しずつ増えた。

しかし、一方幼児クラスは年間を通して“残食は見られないが喫食量はあまり増えない”という状況であり、それまでは食べられていた青菜、小魚を残す児も見られた。担任の先生と適宜相談をしながら調理方法等工夫し、喫食量が満たされているかは身体状況の変化によりモニタリングを行った。

アレルギー対応は以前に比べ多岐に渡っている。そのため、個人盆で対応するケースが

増えた。誤配膳・誤食がないよう給食室内で確認、周知の徹底、クラス・家庭との連携していく。

2019年度も、旬に応じて季節感のある和食を基盤にしながらも、洋食や中華などでレパートリーを増やし、子どもたちの経験を深めていきたい。

平成30年度職員研修報告

| 研修日 | 内容 | 主催 |
|-------|--|------------------|
| 4月13日 | 保育士会総会 | 鎌倉市 |
| 4月17日 | 保育士会 研究会 「1年間の予定・自己紹介・ グループ決め・各グループで 研究テーマ相談」 | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 4月24日 | 保育士会 実行委員会 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 5月8日 | 保育士会 研究会 研究テーマに基づき講師と話 し合う | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 5月12日 | 保育士会 実行委員会 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 6月15日 | 保育士会 実行委員会 講演「宇宙から育む心の成 長」準備・参加 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 6月15日 | 主任部会 | ユカリ福祉会 |
| 6月20日 | 保育士会 研究会 今後の取り組みについて | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 7月10日 | 保育士会 研究会 新・保育所保育指針をもと に、食事に関する項目の考察 | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 7月17日 | 保育士会 実行委員会 | 鎌倉市保育士会 実行委員会 |
| 7月18日 | 保健部会 | ユカリ福祉会 |
| 7月27日 | 給食部会 | ユカリ福祉会 |

| | | |
|--------|--|--------------|
| 8月29日 | キャリアアップ研修 保育の質の向上のための取り 組み | 神奈川県保育会 |
| 9月11日 | 保育士会 研究会 各園の乳児の食事についての 悩みに対する改善点を発達の 視点からみる | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 9月18日 | 保育士会 実行委員会 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 9月21日 | キャリアアップ研修 保育環境を考える① | 神奈川県保育会 |
| 10月9日 | 保育士会 研究会 食事で気になる子への対応の 仕方、保護者への伝え方を話 し合う | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 10月16日 | 保育士会 実行委員会 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 10月27日 | 救命講習 | 鎌倉消防署 |
| 11月14日 | キャリアアップ研修 保育環境を考える② | 神奈川県 保育会 |
| 11月14日 | 保育士会 研究会 講師よりアドバイスをもら い、発表の準備を行う | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 11月18日 | 社会福祉法人ユーカリ福祉会 全体会 講演会「改定保育指針につい て」 | ユーカリ福祉会 |
| 11月20日 | 保育士会 実行委員会 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 12月11日 | 保育士会 研究会 乳児の食に関する事例を持ち 寄り、 紹介、検討 | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 12月18日 | 保育士会 実行委員 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 1月16日 | 保育士会 研究会 発表内容の決定 | 鎌倉市保育士会研究会 |

| | | |
|-------|--|---------------|
| 1月22日 | 保育士会 実行委員 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 1月23日 | 幼児教育研究協議会 「豊かな感性を育む～生きる 喜び・遊ぶ喜び・学ぶ喜び ～」 | 鎌倉市 教育センター |
| 1月25日 | 法人主任部会 残業について・感染症の予防 について | ユーカリ福祉会 |
| 2月13日 | 保育士会 研究会 発表の準備 | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 2月18日 | キャリアアップ研修 苦情解決取り組みⅡ | 神奈川県 保育会 |
| 2月19日 | 保育士会 実行委員 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |
| 3月7日 | 研修会「噛む・食べる・生き る」 噛む噛むクッキングのすすめ | |
| 3月12日 | 保育士会 研究会 総まとめ・模擬発表 | 鎌倉市保育士会研究会 |
| 3月19日 | 保育士会 実行委員 | 鎌倉市保育士会実行委員会 |